

令和5年度 宮城県試験研究機関評価委員会 第1回 工業関係試験研究機関評価部会

研究課題に係る評価部会実施結果

1 評価部会委員

評価部会委員名	所属・職名等	摘要
澤田 恵介	独立行政法人国立高等専門学校機構仙台高等専門学校 校長	部会長
赤羽 優子	株式会社ティ・ディ・シー 代表取締役社長	欠席
蛭名 武雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター 所長	
阿部 賀寿男	株式会社阿部蒲鉾店 代表取締役社長	欠席
佐浦 みどり	有限会社東北工芸製作所 常務取締役	
菅野 直	バイスリープロジェクト株式会社 代表取締役	

2 評価対象課題

(1) 重点的研究課題の事後評価

評価対象課題名	概要	実施期間	予算額	摘要
多相流シミュレーション技術の高度化研究	<p>本研究では、地域企業が高度で複雑なシミュレーションに対応できないという課題に対応するため、特にニーズの高い気体・液体・固体が相互に干渉する物理現象（多相流）を同時に解析するための、シミュレーション技術を開発する。また、得られた結果が妥当であるかどうかを評価する手法の開発も同時に行う。</p> <p>本研究で開発した技術を地域企業へ移転することにより、県内企業の製品開発における競争力向上を目指し、その先で高度なシミュレーション技術を持つ人財の育成につなげることを目的とする。</p>	令和3年度から 令和4年度	5,694 千円	事後評価

3 評価項目

(1) 重点的研究課題の事後評価

- イ 目標達成度
- ロ 研究成果
- ハ 地域への貢献度・波及効果

4 評価結果

(1) 重点的研究課題の事後評価

イ 多相流シミュレーション技術の高度化研究

優れた研究であった。

5 研究課題評価表

別紙のとおり。

研究課題評価表（事後評価）

課題コード		評価実施日	令和5年11月10日	工業関係試験研究機関評価部会
試験研究課題名	多相流シミュレーション技術の高度化研究			
試験研究機関名	経済商工観光部 産業技術総合センター			
担当部署・担当者名	担当部：自動車産業支援部 担当リーダー：吉川 穰			
研究機関	令和3年度～令和4年度			

項目別評価	評価項目 評価基準	評価			係 数 平 均	比 重	採 点 (点)
	項目別 評価	目標の達成度	澤田部会長 ----- A	赤羽副部会長 ----- -			
S 極めて高い		阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
A 高い		----- -	S	B			
B 未達成の部分 はあるが概ね 妥当		----- 非公開 -----					
C やや低い					85.0	0.3	25.5
D 低い		澤田部会長 ----- A	赤羽副部会長 ----- -	蛭名部会委員 ----- A			
研究成果		阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
S 極めて高い		----- -	S	A			
A 高い		----- 非公開 -----			90.0	0.4	36.0
B 妥当		澤田部会長 ----- A	赤羽副部会長 ----- -	蛭名部会委員 ----- A			
C やや低い		阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
D 低い		----- -	S	S			
地域への貢献 度・波及効果	----- 非公開 -----			合計	1.0	85.5	
S 大いに期待で きる	澤田部会長 ----- A	赤羽副部会長 ----- -	蛭名部会委員 ----- A				
A 期待できる	阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員				
B 概ね期待でき る	----- -	S	S				
C あまり期待で きない							
D 期待できない							

※採点の計算方法：係数（S=100, A=80, B=60, C=40, D=20）に項目の比重をかけたものを採点とする。

	評 価			数値平均	総合評価
総合評価	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	4.25	A
	A	—	A		
	阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員		
	—	S	A		

評価基準

S：極めて優れた研究であった A：優れた研究であった B：妥当な研究であった
C：有意義ではない研究であった D：成果が乏しい研究であった

※総合評価の算出方法：各部会委員の総合評価を数値「S=5, A=4, B=3, C=2, D=1」に置き換え、その平均値を少数第1位で四捨五入した数値に相当する評価を総合評価とする。

所 見	非公開